

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年12月4日 (2014.12.4)

【公開番号】特開2014-61358(P2014-61358A)
 【公開日】平成26年4月10日 (2014.4.10)
 【年通号数】公開・登録公報2014-018
 【出願番号】特願2013-188276(P2013-188276)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

【手続補正書】
 【提出日】平成26年10月20日 (2014.10.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 制御手段と第 2 制御手段とを有し、遊技媒体を循環させる循環経路を有する封入式遊技機で遊技者により遊技が行なわれる遊技機と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の有価価値を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置とを備える遊技用システムであって、

前記第 1 制御手段は、当該第 1 制御手段を識別するための第 1 識別情報を記憶し、

前記第 2 制御手段は、当該第 2 制御手段を識別するための第 2 識別情報を記憶してあり

、

前記第 1 制御手段は、

前記第 2 制御手段に対して記憶している前記第 2 識別情報を送信するように要求する識別要求手段と、

前記識別要求手段の要求に応答して前記第 2 制御手段が送信する前記第 2 識別情報を受信する識別受信手段と、

前記識別受信手段で受信した前記第 2 識別情報を、記憶している前記第 1 識別情報とともに前記遊技用装置へ送信する識別送信手段とを含み、

前記遊技用装置は、送信されてきた前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報との真正を上位装置へ問合せさせる問合せ手段を含む、遊技用システム。

【請求項 2】

第 1 制御手段と第 2 制御手段とを有し、遊技媒体を循環させる循環経路を有する封入式遊技機で、遊技者所有の遊技用価値を用いて持点を加算する遊技用装置と通信可能に接続するための接続部を備え、持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機であって、

前記第 1 制御手段は、当該第 1 制御手段を識別するための第 1 識別情報を記憶し、

前記第 2 制御手段は、当該第 2 制御手段を識別するための第 2 識別情報を記憶してあり

、

前記第 1 制御手段は、

前記第 2 制御手段に対して記憶している前記第 2 識別情報を送信するように要求する識別要求手段と、

前記識別要求手段の要求に応答して前記第 2 制御手段が送信する前記第 2 識別情報を受信する識別受信手段と、

前記識別受信手段で受信した前記第 2 識別情報を、記憶している前記第 1 識別情報とともに、前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報との真正を上位装置へ問合せる前記遊技用装置へ送信する識別送信手段とを含む、遊技機。

【請求項 3】

前記遊技用装置は、前記遊技機との間で認証を行なった後に、前記問合せ手段を実行する、請求項 1 に記載の遊技用システム。

【請求項 4】

前記第 1 制御手段は、前記遊技用装置との間で認証を行なった後に、前記遊技用装置に対して前記第 1 識別情報および前記第 2 識別情報を送信する、請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 本発明は、第 1 制御手段（払出制御部 17 を有する L S I 799）と第 2 制御手段（主制御基板 16）とを有し、遊技媒体を循環させる循環経路を有する封入式遊技機で遊技者により遊技が行なわれる遊技機（パチンコ機 2、スロットマシン 2S）と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の有価価値（残高、貯玉、遊技玉数、現金など）を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置（カードユニット 3）とを備える遊技用システムであって、

前記第 1 制御手段は、当該第 1 制御手段を識別するための第 1 識別情報（払出チップ I D）を記憶し（図 6、図 104）、

前記第 2 制御手段は、当該第 2 制御手段を識別するための第 2 識別情報（メインチップ I D）を記憶しており（図 6、図 104）、

前記第 1 制御手段は、

前記第 2 制御手段に対して記憶している前記第 2 識別情報を送信するように要求する識別要求手段と、

前記識別要求手段の要求に応答して前記第 2 制御手段が送信する前記第 2 識別情報（図 78；メインチップ I D、チップメーカーコード、遊技機メーカーコード、遊技機製品コードを機器報応答として送信）を受信する識別受信手段と、

前記識別受信手段で受信した前記第 2 識別情報を、記憶している前記第 1 識別情報とともに前記遊技用装置へ送信する識別送信手段（図 16、図 78；受信した情報と払出チップ I Dとをカードユニットへ通知）とを含み、

前記遊技用装置は、送信されてきた前記第 1 識別情報と前記第 2 識別情報との真正を上位装置へ問合せる問合せ手段（図 16；上位サーバに機器情報（チップ I D 等）を問合せる）を含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(5) 本発明の他の態様は、第 1 制御手段（払出制御部 17 を有する L S I 799）と第 2 制御手段（主制御基板 16）とを有し、遊技媒体を循環させる循環経路を有する封入式遊技機で、遊技者所有の遊技用価値（残高、貯玉、遊技玉数、現金など）を用いて持

点を加算する遊技用装置（カードユニット３）と通信可能に接続するための接続部（コネクタ２０）を備え、持点による遊技が可能であり、入賞の

発生に応じて持点が加算される遊技機（パチンコ機２、スロットマシン２Ｓ）であって、

前記第１制御手段は、当該第１制御手段を識別するための第１識別情報（払出チップＩＤ）を記憶し（図６、図１０４）、

前記第２制御手段は、当該第２制御手段を識別するための第２識別情報（メインチップＩＤ）を記憶しており（図６、図１０４）、

前記第１制御手段は、

前記第２制御手段に対して記憶している前記第２識別情報を送信するように要求する識別要求手段と、

前記識別要求手段の要求に応答して前記第２制御手段が送信する前記第２識別情報（図７８；メインチップＩＤ、チップメーカーコード、遊技機メーカーコード、遊技機製品コードを機器報応答として送信）を受信する識別受信手段と、

前記識別受信手段で受信した前記第２識別情報を、記憶している前記第１識別情報とともに、前記第１識別情報と前記第２識別情報との真正を上位装置へ問合せ（図１６；上位サーバに機器情報（チップＩＤ等）を問合せ）前記遊技用装置へ送信する識別送信手段（図１６、図７８；受信した情報と払出チップＩＤとをカードユニットへ通知）とを含む。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

このような構成によれば、第１制御手段を識別するための第１識別情報と第２制御手段を識別するための第２識別情報との真正が、遊技用装置によって上位装置へ問合せられるために、遊技機における第１制御手段および第２制御手段の両制御手段について、不正行為に対する監視を行なうことができる。しかも、第１識別情報が第１制御手段から遊技用装置へ送信され、第２識別情報もその第１制御手段を経由して遊技用装置へ送信されるために、第１識別情報の遊技用装置への送信機能を第２識別情報の遊技用装置への送信に兼用することが可能となる。

（６） 上記（１）の遊技用システムにおいて、前記遊技用装置は、前記遊技機との間で認証を行なった後に、前記問合せ手段を実行する。

（７） 上記（５）の遊技機において、前記第１制御手段は、前記遊技用装置との間で認証を行なった後に、前記遊技用装置に対して前記第１識別情報および前記第２識別情報を送信する。